

別紙

枠組壁工法構造用たて継ぎ材許容応力度表

樹種 グループ	樹 種 群	長 期 応 力 に 対 す る 許 容 応 力 度 (単 位 kg/cm^2)				短 期 応 力 に 対 す る 許 容 応 力 度 (単 位 kg/cm^2)			
		圧縮	引張り	曲げ	せん断	圧縮	引張り	曲げ	せん断
S I	DFir - L	70	25	40	8	長期応力に対する圧縮、引張り、曲げ又はせん断のそれぞれの数値の2倍とする。			
	Hem - Tam	60	25	40	7				
S II	Hem - Fir	60	20	35	7				
	S - P - F又は Spruce - Pine - Fir	50	20	35	6				
	W Cedar	50	20	30	6				

(注) 樹種グループ及び樹種群は枠組壁工法構造用たて継ぎ材規格の定めるところによる。

MSR製材許容応力度表

曲 げ 応 力 等 級	長 期 応 力 に 対 す る 許 容 応 力 度 (単 位 kg/cm ²)			短 期 応 力 に 対 す る 許 容 応 力 度 (単 位 kg/cm ²)		
	圧 縮	引 張 り	曲 げ	圧 縮	引 張 り	曲 げ
900f—1.0E 900f—1.2E	30	15	45	長期応力に対する圧縮、引張 り又は曲げのそれぞれの 数値の2倍とする。		
1,200f—1.2E 1,200f—1.5E	40	30	60			
1,350f—1.3E 1,350f—1.8E	50	35	65			
1,450f—1.3E	50	40	70			
1,500f—1.3E 1,500f—1.4E 1,500f—1.8E	55	45	75			
1,650f—1.3E 1,650f—1.4E 1,650f—1.5E 1,650f—1.8E	60	50	80			
1,800f—1.6E 1,800f—2.1E	65	60	90			
1,950f—1.5E 1,950f—1.7E	70	70	95			
2,100f—1.8E	75	80	105			
2,250f—1.6E 2,250f—1.9E	80	85	110			
2,400f—1.7E 2,400f—2.0E	85	95	120			
2,550f—2.1E	90	100	125			
2,700f—2.2E	95	105	135			
2,850f—2.3E	100	115	140			
3,000f—2.4E	105	120	150			
3,150f—2.5E	110	125	155			
3,300f—2.6E	120	130	160			

(注1) 曲げ応力等級はMSR製材規格の定めるところによる。

(注2) 長期応力及び短期応力に対するせん断の許容応力度については、樹種群に応じ、通達112号に示すところによる。

構造用単板積層材許容応力度表(その1)

曲げヤング 係数区分	等級	長期応力に対する 許容応力度 (単位 kg/cm ²)			短期応力に対する 許容応力度 (単位 kg/cm ²)		
		圧縮	引張り	曲げ	圧縮	引張り	曲げ
180E	特級	155	120	195	長期応力に対する圧縮、引張り又は曲げのそれぞれの数値の2倍とする。		
	1級	150	100	170			
	2級	140	85	140			
160E	特級	140	105	175			
	1級	135	90	150			
	2級	125	75	125			
140E	特級	120	90	155			
	1級	120	80	130			
	2級	110	65	110			
120E	特級	105	80	130			
	1級	100	65	110			
	2級	95	55	95			
100E	特級	85	65	110			
	1級	85	55	95			
	2級	80	45	80			
80E	特級	70	50	85			
	1級	65	45	75			
	2級	65	40	65			

(注) 曲げヤング係数区分及び等級は構造用単板積層材規格の定めるところによる。

構造用単板積層材許容応力度表(その2)

水平せん断性能	長期応力に対する せん断の許容応力度 (単位 kg/cm ²)	短期応力に対する せん断の許容応力度 (単位 kg/cm ²)
65V — 55H	13	長期応力に対するせん断の 数値の2倍とする。
60V — 51H	12	
55V — 47H	11	
50V — 43H	10	
45V — 38H	9	
40V — 34H	8	
35V — 30H	7	

(注) 水平せん断性能は構造用単板積層材規格の定めるところによる。